

1. 日時

2022年8月12日(水) 19:00～21:00

2. 場所

Zoom(Web会議システム)

3. 出席者

(敬称略順不同)

近藤、中村、新谷、大橋、山本、浜口、河村、鈴木(記) 以上8名

4. 議題

(1)活動方針に沿った研究会活動

(2)BAアワード受賞祝賀会について

5. 議事

(1)活動方針に沿った研究会活動

中村氏が、BABOKガイドに従い、作成してきた戦略アナリシスについて、共有し説明。

近藤氏より、現状分析の中で、経営トップは、プロジェクトマネジメントをしっかりやれば、収支改善など、課題は解決すると考えている。しかし、中村氏は、プロジェクト開始以前、つまりプロジェクトの外に問題があると捉えている。このギャップを埋めるため、そもそもその価値は何かを考えることが重要。例えば収支改善が価値ではなく、成長戦略が大切であるなど。自分たちの会社にとって、何が一番大切な価値か、マーケットに対して、どのような価値を提供するか、まず最初に、そこを検討する必要がある。

現状を分析するという点でいえば、これまで成長を支えてきた、定常業務の中にも、製品の品質や、保守の品質や、無事故の実績などの価値が存在する。マネジメント手法を浸透させることも大切だが、そもそも定常業務は、どのような要求に基づくものなのかを、リバースエンジニアリングすることで、マーケットバリューにつながる価値を見出すことができるのではないかと。

プロジェクト型業務は、新しい価値を生み出すために実施されるとすれば、プロジェクトの外で、価値を明確にし、体系化した上で、目的を定め、立ち上げてゆかなければ、プロジェクトマネジメントをしっかりやっても、意味のある結果がもたらされない。

次年度から始まる新しい経営計画に、どのように記載されるか、まだ明確でないとするれば、ひとまず今後のアプローチとして、現在目の前にある、大規模プロジェクトの収支改善という課題と並行し、マーケットに提供する価値は何かという観点から、成長戦略の引き出しを始めていってはどうか。提供すべき顧客価値は一体何か、そこから要求を定義し、ソリューションを体系化し、プロジェクトを立ち上げる、という流れを定着させる必要がある。定常業務の中にある、既にある価値は、当たり前のこととして見落とされがちだが、体系化によって、見える化され、包摂される。

まずはニーズを考える。次回までに明確化して、再度議論したい。

## (2)BAアワード受賞祝賀会について

2022年8月3日に開催されたIIBA日本支部主催のBAサミットで、当研究会の活動がビジネスアナリシスアワードを受賞した。喜びを分かち合うためと、検討を讃えあうため、受賞祝賀会を開催する。FBとSLACKのアンケートで開催形態を募ったところ、対面での飲み会希望が多かったが、Covid19の感染状況を踏まえ、オンライン飲み会とする。開催日程は8/21~27の間とし、「調整さん」で調整し、別途案内する。

## 6. 次回予定

### (1) 日程

9月度第一水曜日:9月7日 19:00~21:00

### (2) 場所

ZOOM会議室(URLなどは開催案内メールでお知らせします)

### (3) 議題

引き続き「戦略アナリシス」を検討する

## 7. 成果物

成果物は適宜、Slackで共有させていただきます。現在Slackに参加していない方で、共有を希望される方は、お申し出ください。

## 8. その他

中村氏が宿題を進める上で、良いアイデアや、意見がありましたら、Slackの「[#2022年度研究活動](#)」に遠慮なく意見をお願いいたします。

—以上—